(地域公共交通調査等事業)

🚹 制度の概要

地域の多様な関係者が協働した地域の公共交通の確保・維持、利便性の向上等の取組みを支援する制度です。地域公共交通計画の策定、バリアフリー化推進、利便増進計画の実施等を通じて、持続可能な地域交通ネットワークの形成を後押しします。

国土交通省が実施する地域公共交通確保維持改善事業の一環として、地域公共交通の計画策定段階から運営改善までを包括的に支援し、地域住民の移動手段確保と地域活性化を図ります。

■ 支援内容

□ 地域公共交通計画策定事業

地域公共交通計画の策定に必要な調査・分析・協議会運営等の経費を支援

最大1,500万円

補助率:1/2

□ 利便増進・運送継続計画策定事業

地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定支援

最大1,000万円

補助率: 1/2

◎ 対象となる取組

【計画策定】

- □ 地域データの収集・分析業務
- □ 住民・利用者アンケート調査
- □ 専門家の招聘・協議会開催
- □ 短期間の実証調査・運行

【計画推進・評価】

- □ 公共交通マップ・時刻表作成
- □ ワークショップ・説明会開催
- □ モビリティマネジメント実施
- □ 目標達成状況の把握・検証

【バリアフリー化】

- □ 移動等円滑化促進方針策定
- □ 基本構想策定・見直し
- □ 心のバリアフリー教育啓発

₩ 対象者

- □ 地域公共交通活性化再生法に基づく協議会(法定協議会)
- □ 市町村(バリアフリー法協議会構成員)
- □ 都道府県(広域的な計画策定の場合)

♀ 採択率向上のポイント

- □ 法定協議会の設立:地域公共交通活性化再生法に基づく協議会の組織化
- □ 多様な関係者の参画:交通事業者、住民、学識経験者の協働体制構築
- □ データに基づく現状分析:利用実態調査や住民ニーズの客観的把握
- □ 実現可能性の検証:財源確保や運営体制の持続可能性を明示

些 戦略的分析

【計画策定の戦略的アプローチ】

- □段階的実施で事業規模を適正化
- □ 単独市町村型から広域型への発展を検討
- □ バリアフリー化と利便増進の同時推進

【継続性確保の重要性】

- □ 5年間の推進事業活用で計画実効性向上
- □ 交通事業者との連携協定締結推奨
- □ 住民参画による地域主体の運営体制構築

♣ 事業類型別実施状況



計画策定事業:全体の約60%を占め最も活用が進んでいる 平均事業費:約800万円(計画策定事業の場合)

。 取組分野と活用例

取組分野	具体的な活用例
路線バス再編	需要分析に基づく効率的路線設計
デマンド交通	AIを活用した最適運行システム検討
MaaS導入	複数交通手段の統合プラットフォーム
バリアフリー	ノンステップバス・駅ホーム整備
利用促進	モビリティマネジメント・啓発活動

♪ 専門家活用のススメ

- □ 交通計画コンサルタント:データ分析と最適解導出の専門支援
- □ 学識経験者:地域特性に応じた計画策定指導
- □ 行政書士・社労士:法定協議会設立と運営サポート
- □ システム業者:ICT活用による効率的運営体制構築

▶ 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/9/12作成】

提出書類	チェックポイント
事業計画書	□ 法定協議会の設立状況を明記□ 地域の交通課題をデータで裏付け□ 計画策定の具体的手順を記載
収支予算書	□ 補助対象経費の詳細な積算根拠□ 自己負担分の財源確保証明
協議会規約・構成員名簿	□ 法定協議会としての要件確認□ 多様な関係者の参画状況
地域の現状資料	□ 人口動態・交通需要データ □ 既存交通サービスの利用実態

曲 申請スケジュール

● 事前準備期間

法定協議会の設立・規約策定に2~3ヶ月程度。 地域の現状調査と関係者との調整が重要。

♦ 申請受付

随時受付

最寄りの地方運輸局への直接申請。 事前相談を強く推奨。

● 審査期間

申請後1~2ヶ月程度

▶ 交付決定通知

審査完了後、交付決定通知書発行

● 事業実施

交付決定後~事業開始

完了後30日以内に実績報告書提出必須

▲ 補足事項

- □ 利便増進・運送継続計画推進事業は最大5年間の継続支援あり
- □ バリアフリー化調査は心のバリアフリー教育啓発も対象

② 問い合わせ

制度詳細 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei transport tk 0000

<u>41.html</u>

お問い合わせ 国土交通省 総合政策局 地域交通課

TEL:03-5253-8396(直通)

※補助要件等の詳細は最寄りの地方運輸局へ